



# 熊谷市 記者クラブ取材情報

平成31年2月25日発表  
担当課:秘書課

## 事業の名称等

「平成31年度熊谷市表彰式」の開催について

1. 日時 平成31年4月13日(土) 午前10時00分から11時10分まで

2. 場所 熊谷市立大里生涯学習センター「あすねっと」文化ホール

## 3. 事業概要

市政に功労のあった方々を表彰するため、「平成31年度熊谷市表彰式」を開催します。

本市で最も権威ある、熊谷市表彰条例に基づく表彰では、本市の文化の興隆、福祉の増進、産業の発展又は自治の振興に貢献された5名の方々を表彰します。(功績は別紙参照)

また、熊谷市表彰規則により、市政に功労のあった99名の方々の表彰に併せ、熊谷市職員表彰規程により市職員を表彰します。

## 4. 特徴やPRポイント

## 5. その他

資料の有無(  有 ) ・ 無 )

担当者 松本、駒井

連絡先 048-524-1112(秘書課直通)

**平成31年度  
熊谷市表彰条例に基づく被表彰者  
功績調書**

## 平成31年度 表彰条例に基づく被表彰者一覧

No	部 門	氏 名	性別	住 所	職 名	担 当 課
1	文 化	とみ ざわ てい こ子 氏	女性	中央在住	元熊谷市教育委員会委員	社会教育課
2	福 祉	ひら むき のぶ お雄 氏	男性	新堀在住	熊谷市立あかしあ育成園理学療法士	保育課
3	産 業	かさ はら さだ お男 氏	男性	西別府在住	元くまがや農業協同組合代表理事組合長	農業振興課
4	自 治	いし かわ まさ おき 昭 氏	男性	石原在住	元熊谷市副市長	職員課
5	自 治	の ぐち やす お男 氏	男性	佐谷田在住	元熊谷市議会議員	議会事務局

年齢は、平成31年3月31日現在

## 文化功労表彰

とみざわ ていこ  
富澤 禎子 氏 (86歳 熊谷市中央在住)

元熊谷市教育委員会委員

埼玉県教育功労者表彰 (平成4年)

大里地区市町村教育委員会連合教育功労者表彰 (平成5年)

熊谷市文化功労者 (熊谷市教育委員会 平成24年)

### 功 績

富澤禎子氏は、昭和28年4月から40年の長きにわたり、終始一貫して教育者として職務に精励し、本市の教育の向上に貢献されました。

この間、氏は、公立中学校の教諭、教頭、埼玉県立北教育センター指導主事、小学校校長を務めました。富士見中学校では、教諭として「わかる数学の授業」を目指し努力を重ねるとともに、学級経営では、教育相談的手法を生かした思いやりのある学級づくりを推進し、特に聴覚障がいの有無にかかわらず、共に学ぶ学級経営は、その後の特別支援教育のあり方に広く影響を与えました。

また、小学校校長として、奈良小学校では、生活科への移行に際し、地域の教育力を生かすため、地域との連携強化に努められました。

熊谷南小学校では、環境を重視した「緑と歌声の学校」の実現に向けて取り組み、埼玉県緑化コンクール優秀校、地域コミュニティ賞を受賞するなど、大きな成果を上げました。

さらに、この間には、熊谷市教育研究協議会会長や大里地区女性管理職の会「つわぶきの会」会長、関東女性校長会副会長、全国女性校長会理事などの要職を歴任し、後進の育成にも尽力されました。

退職後は、平成7年12月から10年間、熊谷市教育委員会委員として、その間の延べ2年間は、委員長として、学校の教育活動を支援し、教職員の資質向上、学校の活性化に努めるなど、本市の教育の充実、発展に大きく貢献されました。

このように、その優れた人格と卓越した指導力により、学校教育を通して本市の発展と教育振興に寄与された功績は誠に顕著です。

## 福祉功労表彰

ひらむき のぶ お  
平向 信雄 氏 (85歳 熊谷市新堀在住)

熊谷市立あかしあ育成園理学療法士

### 功 績

平向信雄氏は、昭和49年7月に三尻中学校の2教室を利用して暫定開園した、肢体不自由児母子簡易通園施設「熊谷市立あかしあ育成園」の準備段階から関わり、設立当初から平成31年3月に至るまで、44年余りの長きにわたり、理学療法士として児童の機能訓練に携わり、障がい児福祉に尽力するなど、市民福祉の増進に大きく貢献されました。

この間、氏は、子育てに不安を抱える保護者の気持ちに寄り添い、子どもの障がいを受け入れ育てていく希望を与えるとともに、誠意を持った訓練により、一千人にも及ぶ障がい児の身体機能の維持・向上と、障がい児を持つ保護者の意識改革に努められました。

特に、児童の個別訓練を中心に脳性まひ児の家庭での療育や、補装具の作製についての相談を受け、関係職員に介助方法などの関わり方を助言するなど、発達支援の視点で、児童が社会生活を送りやすくするための連携強化に尽力されました。

また、熊谷保健センターでは、設立当初の平成2年4月から平成18年3月までの間、老人保健法に基づいた機能訓練事業を行い、疾患の急性期後の機能低下を防ぐための体操指導を行うなど、高齢者福祉の分野でも多大な貢献をされました。

さらに、母子健康センターにおいては、平成7年11月から平成21年3月までの間、乳児健診時に脳性まひを含む中枢神経疾患を早期に発見できるよう、保健師に助言を行うとともに、乳幼児発達相談(P T相談)を行い、運動発達が心配な子どもの身体状況を把握して保護者に助言を行ったほか、母子保健事業の一環として市民向け健康教育講座で「赤ちゃん体操」を行うなど、障がいのある子どもの早期発見、早期療育への連携に尽力されました。

このように、長きにわたり理学療法士としての理念を貫き、機能訓練等を通して、障がい等に向き合い支援していくことの大切さを多くの方に伝えるなど、本市の発展と市民福祉の向上に寄与された功績は誠に顕著です。

## 産業功労表彰

かさはら さだお  
笠原 貞男 氏 (72歳 熊谷市西別府在住)

元くまがや農業協同組合代表理事組合長  
熊谷市農地利用最適化推進委員  
別府地区農地整備推進委員会会長  
埼玉県農業協同組合中央会特別功労章(平成20年)

### 功 績

笠原貞男氏は、昭和44年4月、埼玉県経済農業協同組合連合会に入組、その後、同連合会が全国農業協同組合連合会との合併に伴い解散したことにより、平成14年4月からは全国農業協同組合連合会に奉職し、平成21年3月まで40年の長きにわたり、農業の振興と発展に寄与されました。

また、地元組合員からの推薦により、平成23年6月にくまがや農業協同組合理事、さらに、卓越した識見と温厚にして公平な人柄が高く評価され、平成26年6月には同代表理事組合長に就任されました。農業者の高齢化が進み、担い手経営体への農業生産と販売が集中するなか、国が着手した農協改革を受けたJAグループの農協改革案を注視しつつ、地域農業における所得の増大・地域の活性化の実現を目指し、コンプライアンス体制の強化等、自己改革に積極的に取り組み、課題解決に向け尽力されました。営農指導に関しては、営農相談員を増員し、きめ細かな農家相談を行うとともに、飼料用米等の新規需要米への取組を推進し、作業の効率化・省力化に努めました。

さらに、販売事業においては平成26年の大雪被害からの早期復興に向け、農業用施設の再生支援や共済金の支払いの迅速化等に取り組むとともに、地産地消の拡大と「安全・安心」な農畜産物の提供に向け、ふれあいセンター箱田店の新店舗建設に尽力されました。

また、平成30年9月からは、熊谷市農業委員会における農地利用最適化推進委員や、地元別府地区における農地中間管理事業を活用した別府地区農地整備推進委員会会長として、地域が抱える農業の問題解決や将来の最適な農地利用の実現に向け、地域のリーダーとして活躍するなど、本市の発展と産業の振興に寄与された功績は誠に顕著です。

## 自治功勞表彰

いしかわ まさあき  
石川 雅昭 氏 (77歳 熊谷市石原在住)

元熊谷市副市長  
元熊谷市助役  
埼玉県知事表彰(平成29年)  
瑞宝双光章(平成29年)

### 功 績

石川雅昭氏は、昭和37年、本市に奉職し、以来本市の副市長を退任するまでの46年余りの長きにわたり、地方自治の進展に尽力し、市政の発展向上に多大な貢献をされました。

この間、氏は、彩の国まごころ国体の成功に向けた広報・啓発活動や現在のラグビータウン熊谷の礎となる全国高等学校選抜ラグビーフットボール大会熊谷開催の実現に尽力するとともに、水道部長、都市整備部長、総務部長及び企画部長等の要職を歴任し、熊谷市水道事業第6期拡張事業の計画策定、土地区画整理事業による住環境整備の促進、市営住宅の増設、緑地保全や緑化推進に向けた公園整備、熊谷市総合振興計画・後期計画の策定、交通弱者のための市内循環バスの運行整備等、綿密な計画力、的確な判断力と先見性、リーダーシップをもって市政運営の中心となり、その力量を遺憾なく発揮されました。

こうした氏の長年にわたる幅広い行政経験と卓越した行政手腕を高く評価されて、平成14年10月に熊谷市助役に任命され、地方分権の推進、行財政基盤の強化、住みよいまちづくりを目的とする市町村合併の推進において、市長の指示のもと、平成17年10月及び平成19年2月の二度の合併に尽力し、成功させました。

平成19年4月からは、熊谷市副市長として市政全般にわたり市長を補佐し、平成21年4月には、豊富な経験と知識を糧に強い指導力を発揮し、県北初の特例市への移行に導くとともに、幾多の諸問題の解決に渾身の努力を傾け、計画的かつ円滑な市政の発展に多大な貢献をされるなど、本市の発展と地方自治の振興に寄与された功績は誠に顕著です。

## 自治功勞表彰

のぐち やすお  
野口 康男 氏 (71歳 熊谷市佐谷田在住)

元熊谷市議会議員

元熊谷市農業委員会委員

全国市議会議長会表彰(平成15年)

旭日双光章(平成29年)

### 功 績

野口康男氏は、昭和58年5月、地域住民の厚い信望を得て、熊谷市議会議員に初当選され、以来5期20年の長きにわたり、熊谷市議会議員として地方自治の振興のため献身的な努力と情熱を傾け、本市の発展に大きく貢献されました。

この間、氏は、熊谷市議会において総務常任委員会副委員長、経済常任委員会副委員長、民生常任委員会副委員長及び同委員会委員長、建設常任委員会副委員長、地方分権対策特別委員会副委員長等の要職を歴任し、豊富な経験と卓越した識見を遺憾なく発揮され、広く住民の声を市政に反映させるとともに、多くの課題解決に力を注がれました。

また、氏は、熊谷市監査委員、荒川北縁水防事務組合議会議員及び同議会議長、大里広域市町村圏組合議会議員、熊谷・深谷と畜場組合議会議員、県北隔離病舎組合議会議員及び熊谷地区消防組合議会議員等、広範にわたり献身的に活動し、広域行政の充実と発展に大きく貢献されました。

さらに、氏は、熊谷市総合振興計画審議会委員及び熊谷市都市計画審議会委員を長年務め、熊谷市政及びまちづくりの根幹ともいえる計画策定とその推進に尽力されたほか、熊谷市農業委員会委員として本市の農業の振興に多大なる貢献をされました。

このように、優れた政治手腕と強い責任感、卓越した指導力により、本市の発展と地方自治の振興に寄与された功績は誠に顕著です。